

八幡小学校の収穫祭が

行われました

去る1月28日、八幡小学校において3・4年生による収穫祭が行われました。これは、毎年テーマを変えてお米作りに取り組んでいる総合学習の内容について、お世話になった方々をお招きし、行われたものです。

今年の学習テーマは、「発砲スチロール田んぼの米作り」です。子どもたちは、あらぎ島において田植えや稲刈り、脱穀などの体験を行う一方で、小学校内に発砲スチロール田んぼを作り、5月の田すき・田植えから、夏の草引き、9月の稲刈り、脱穀、籾すり、精米、調理までを行い、お米づくりの一連の過程を体験学習してきました。

子どもたちの感想では、ドロドロした感触が気持ちよく、田植えは楽しかったという意



見が多く聞かれました。一方で、最も大変な作業としてあげられたのが、割り箸とペットボトルを用いた脱穀の作業でした。脱穀には、授業時間だけでは終わらず、みんなで何時間もかけてやり遂げたという苦労が発表され、改めて機械の便利さや手作業の大変さが理解できたとの意見が聞かれました。このほか、あらぎ島に比較して発砲スチロール田んぼでとれたお米の量は少なく、土地の広さとお米の成長が関係しているのではないかと、子どもたちなりの考えも示されました。

その後、お食事が催され、子どもたちが育てたお米を用い、手作りしたおにぎりと味噌汁をお世話になった方々と一緒にいただきました。また、農協職員によるポン菓子作りの実演が行われ、見たこともない機械を前にワクワクしながら見つめる姿が印象的でした。爆発する大きな音や何倍にも膨らんだお米の粒に驚きながらも、できたてのポン菓子は優しい甘さがおいしく、とても人気がありました。

この1年間、子どもたちが取り組んできた学習は、当たり前のように食べているお米も、大変な作業を経てできていることを子どもたちなりに学ぶ機会となり、大変良い経験や思い出になったと考えられます。

